

今回の応募作品は、色彩や季節表現の幅や光の捉え方が美しい作品が多く、新しい世界観を見ることができました。入賞した作品は、情報量の多さが際立ち、土木という視点が巧みに表現されており、さまざまな環境の中でインフラが根付いている様子が伝わってきました。

また、インフラを芸術作品としての魅力だけでなく、人々の暮らしにどのように溶け込んでいるかという点にも目を向け、新たな気づきを与えてくれる作品が今後増えていくと、より一層面白いコンテストになるのではないかと感じました。

一般部門

【最優秀賞】

① 光の記憶：橋口 智子

《本人コメント》

久しぶりに訪れた夜の公園。滑り台に光が回り、昼には見えなかった幻想的な造形美に心惹かれシャッターを切りました。

【優秀賞】

② 安全第一：田中 敬子

《本人コメント》

足場のジグザグ階段、文字、紫色のリフト番号など、カラフルで美しい足場を撮りました。

③ タルミノナポリ：水口 和史

《本人コメント》

にこ展望所から見る景色は山の形状、海岸の位置、港等地形がナポリ海南側ソレント付近からの景色に錦江湾一そっくりです。

【入選】

④ THE 手彫り：堂元 久志

《本人コメント》

手彫りで掘られた水力発電用の導水トンネルに輝く紅葉の人気スポットを狙ってみた。荒々しい手彫りのあとが写ってくれた。

⑤ トワイライト・シンフォニー：中村 美樹

《本人コメント》

夏の夕暮れ時、夕焼けを背景に花火・港を行き交う船と航跡・自動車・街明かりなどが調和する景色がとても美しかったです。

⑥ コスモスの中にある鉄橋：山下 廉翔

《本人コメント》

コスモスを前景に入れつつ後を通過する鉄道と鉄橋がバランスよく配置できるよう意識して撮影しました。

⑦ 黄昏を駆ける光の軌道：新澤 多希夫

《本人コメント》

野間岬へ続く道で夕暮れの光跡と自然が溶け合う瞬間を捉えた一枚。

⑧ 99年の瞬き：池田 丈二

《本人コメント》

文明から切り離された遺跡は建造99年を経てなお存在感を際立たせる。星の瞬きも生命の営みもすべて受け入れてきた証。

⑨ 秋溪：児玉 さとみ

《本人コメント》

秋の溪に捉えられた構造物、自然の流れを受け止め、風景の一部として存在している。

⑩ 美しい景色：高吉 宣良

《本人コメント》

寒い朝神秘的な世界を撮ることができました。冷たい空気を感じていただけなら幸いです。

高校生以下部門

【最優秀賞】

① 現場の主役も一休み：下袴田 柊乃

《本人コメント》

川辺で黙々と作業を続けるショベルカーの休憩時間を撮影しました。人々の暮らしを支えるその働きのありがたさに気づきました。

【優秀賞】

② 大きな力：大坪 奏美

《本人コメント》

下から見上げると想像以上に大きく、圧倒的な存在感を感じた。このような橋が私たちの生活を支えているのだと思った。

③ 船の残影：吉川 寧音

《本人コメント》

港に残された、船を陸へあげるための道具を撮影しました。水たまりを使って反射させ、空の色によりものさびしさを表現しました。

【入選】

④ まっすぐ：上野 煌貴

《本人コメント》

この写真は妹と一緒に散歩に行ったときのようすを撮りました。空もとてもきれいで妹の元気の様子もよくうつったと思います。

⑤ 夏空と煉瓦アーチ：前田 優心

《本人コメント》

夏の光に照らされる煉瓦アーチの構造美と、水辺との調和が美しく撮影しました。

⑥ 橋の名残、黄昏に立つ：上原 七海

《本人コメント》

永吉川に面した橋で橋梁跡を被写体にして撮影しました。川に静かにただずんでいる感じがいいと思いました。

⑦ 中郡歩道橋：有村 颯真

《本人コメント》

この写真は郡元にある木を囲んでいる歩行者デッキを撮影したものです。スマホによって撮影しました。

⑧ 現役：登山 百々

《本人コメント》

集落の路地を挟む商店と郵便局、未だに使われている赤いポスト。時が止まっているような昭和の雰囲気です。

⑨ 帰りみち：西田 実智

《本人コメント》

帰り道にとってもきれいで心が惹かれたので写真を撮りました。

⑩ 走り出したかった：清永 優乃心

《本人コメント》

誰にも乗られなくなってしまった遊具を撮影した。